

# 世界の栄養不足人口 —ハンガーマップ 2011

Prevalence of undernourishment  
in developing countries

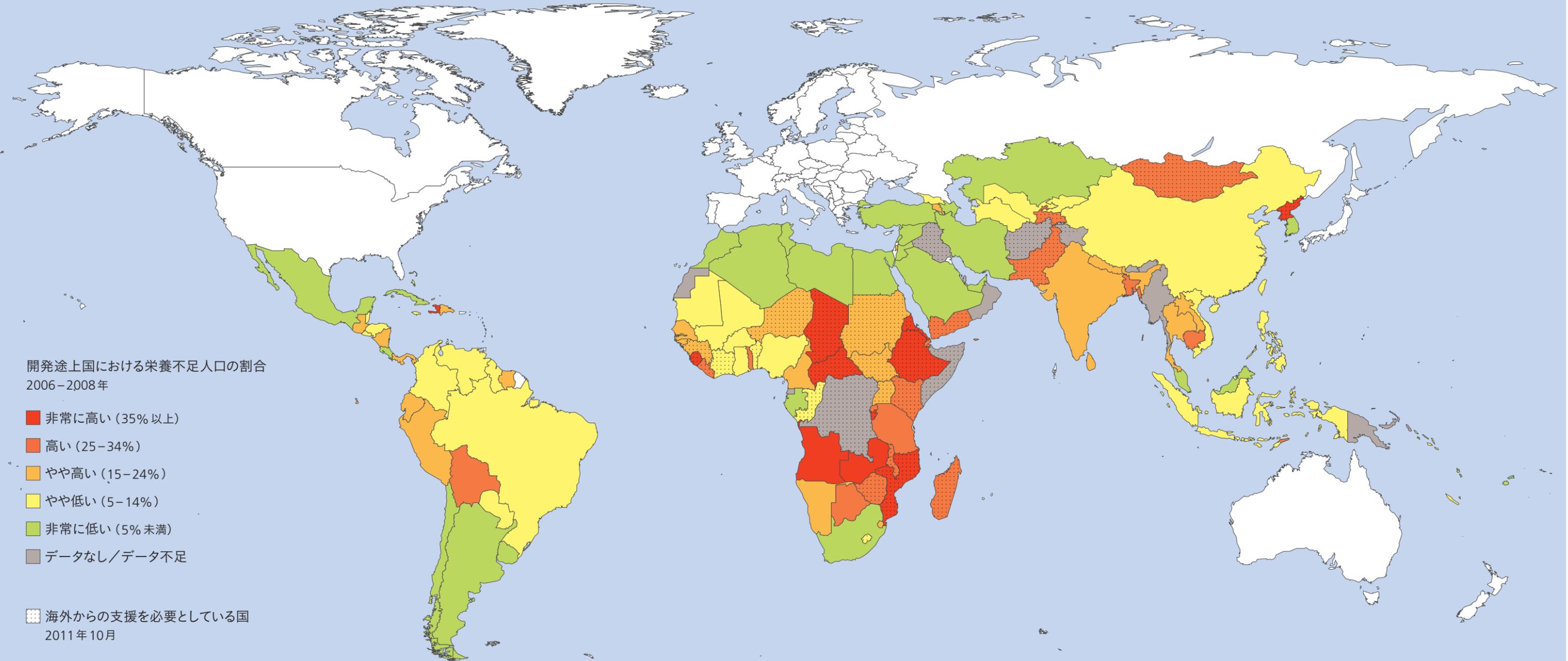


2010年時点で、世界では約9億2,500万人の人々が栄養不足または慢性的飢餓に苦しんでいます(2005-2007年推定)。特に、輸入に依存しているアフリカの小国では、今なお2006-2008年の世界の食料・経済危機と、これに続く食料価格の高騰の影響を受けています。2007-2008年に、アジアでは飢餓人口が実質一定だった一方で、アフリカでは8%も増加しました。なかでもソマ

リアやエチオピアなどの「アフリカの角」地域では、干ばつが追い討ちをかけ、ソマリアは飢饉という深刻な事態に陥っています。この地域をはじめ、海外からの緊急支援を必要としている国は、2011年10月現在、32カ国にのぼります。FAOは、人口増加やバイオ燃料のさらなる成長、頻発する異常気象により、価格の不安定性は今後10年間にわたって増幅する可能性もあるとし、長期

的な食料安全保障の確保には農業投資が依然として重要であることを強調しています。また、価格の不安定性に対しては、小規模農家の生産リスクを減らす投資、最も脆弱な人々のためのセーフティネット、透明性があり予見可能な規制環境や国際貿易に関するより広範囲な政策協調などが必要です。

関連ウェブサイト  
FAO ハンガーポータル: [www.fao.org/hunger/jp](http://www.fao.org/hunger/jp)



開発途上国における栄養不足人口の割合  
2006-2008年

- 非常に高い (35%以上)
- 高い (25-34%)
- やや高い (15-24%)
- やや低い (5-14%)
- 非常に低い (5%未満)
- データなし/データ不足

▨ 海外からの支援を必要としている国  
2011年10月